

第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）
馬術会場（仮決定）の変更について

2023年6月5日(月)
愛知県スポーツ局アジア・アジアパラ競技大会推進課
計画推進グループ
担当 斎藤、高橋
内線 2274、2854
ダイヤル 052-954-7403

1 馬術会場に係る主な調整状況

2016. 4/8	○国際的スポーツ大会開催可能性検討調査【県→県内競技団体】				
2016. 9/20	○アジア競技大会 開催構想の策定・発表 (馬術会場：愛知県森林公園)				
2019. 7/31	○競技会場 仮決定案の承諾 仮決定案 承諾書(抜粋) 2019年7月31日付 日本馬術連盟 2026年開催予定の第20回アジア競技大会については、下記の施設を候補会場として、国際競技団体を始めとする関係者と調整を進めることを確認します。 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>実施競技・種別</td> <td>競技会場</td> </tr> <tr> <td>馬術競技</td> <td>愛知県森林公園</td> </tr> </table> 特記事項 農林水産省当局の指示に従い海外から輸送される競技馬匹を受け入れることができる防疫上の環境を作り、厩舎を国際規程に適合するよう改修することが必要。 また、競技場については、国際馬術連盟が指名する技術役員 の指導によって整備すること。	実施競技・種別	競技会場	馬術競技	愛知県森林公園
実施競技・種別	競技会場				
馬術競技	愛知県森林公園				
2019. 10/18	○組織委員会理事会で愛知県森林公園を馬術競技の会場とする仮決定案を決議				
2020. 9/23	○国内競技団体の視察（日本馬術連盟） 視察時の主な指摘 <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県森林公園には、アジア競技大会の馬術競技を行うために必要な水準を満たす施設がほぼない状態である。 ・既存の厩舎の馬房が狭く国際規格に適合していない。 ・厩舎と馬診療所、装蹄所、馬事衛生や獣医のオフィス等はセットだが、厩舎の周囲にそうした施設を設置するスペースがない。 ・既存施設には、クロスカントリーコースがなく新たに整備する必要がある。 				

2022. 4/20	○愛知県森林公園のダニ生息調査 調査報告書(2022. 6/15受領) <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境との境界が不明確な箇所があるエリアや森林エリアの全域でダニが採集され、明らかに定着している。 ・騎乗コースで、周辺の草木に馬が接触し、ダニ類に咬着され、厩舎内でダニ類が離れて他の馬がダニに咬着される可能性がある。 ・厩舎内で馬に供する餌や水を求めて、周辺から野生動物が厩舎内へ侵入してダニ類を持ち込み、二次的に厩舎内の馬が咬着される可能性がある。
------------	--

2 課題

(1) 馬の防疫対策

- ・ダニの生息が確認されており、会場となる範囲でダニの駆除を実施して清浄性を確保するとともに、定期的に調査を行い、ダニが発見された場合は再度駆除を実施して清浄性を維持することが必要となる。
- ・愛知県森林公園は、外周(約2.2km)を囲う柵がなくダニを運ぶ野生動物の侵入を防ぐことができないため、新たにフェンス等の設置が必要
- ・愛知県森林公園は、森林公園鳥獣保護区特別保護地区に指定された地域内にあり、既存の全ての野生動物を域外へ排除することは困難
 >特別保護地区内での狩猟は禁止。農業被害等がある場合は、許可を得れば捕獲は可能

(2) 会場整備費の試算(国際規格に適合した施設等の整備費)

- ・厩舎等の施設、競技場等の仮設整備費：約3.4億円(概算額)

厩舎、馬診療所、馬用具・飼料・敷材置場、グルーム宿舎 競技場・運営施設、練習馬場・待機馬場等

- ・クロスカントリーコース(競技場)の改修費：約2億円(概算額)
 (既存の遊歩道の整地、水壕の整備等)

3 馬術競技の会場変更案

【馬場馬術/総合馬術/障害馬術】

- ・変更前：愛知県森林公園
- ・変更後：JRA馬事公苑（東京都世田谷区）

4 問合せ先

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会
競技会場第一課 競技第一グループ（馬術会場に関すること）

担当 今枝、藤原

電話 052-746-9153（ダイヤルイン）